

本調査の特徴

本調査は、幼児の子どもをもつ家庭での子育ての実態、および、しつけや教育に関する保護者の意識をとらえることを目的に実施している。ベネッセ未来教育センターでは、1997年にも同じ目的で調査を実施しており、経年での比較ができるよう配慮して今回の調査を設計した。

また、本調査に先立って、2002年には、同じ地域で小学1年生から中学3年生の子どもをもつ保護者にも同様の調査を実施しており、今回とあわせることで12学年にわたる子育ての変化を追うことができる。

※1997年調査：年少児〔3歳児〕～小学2年生の保護者4,766人対象、調査結果は『子育て(第1回調査)生活基本調査報告書』として1998年に刊行。1997年調査実施時の機関名称は、ベネッセ教育研究所。

※2002年調査：小学1年生から中学3年生の子どもをもつ保護者9,857人対象、調査結果は『第2回子育て生活基本調査報告書—小学生・中学生の保護者を対象に—』として2003年に刊行。2002年調査実施時の機関名称は、ベネッセ教育総研。

本調査の特徴は、以下のようにとまとめられる。

1. 時代による変化を把握することができる

本調査は、時系列で調査することを目的として企画されている。質問項目は、教育環境の変化に応じて多少の追加・削除はあるが、ほぼ同一のものを使用している。なお、1997年調査は、調査対象が2003年調査と異なることから、経年での変化をみる際は、幼稚園・保育園に通う年少児～年長児の保護者を抽出して比較した。

※年少児は幼稚園年少児クラスと保育園3歳児クラス、年中児は幼稚園年中児クラスと保育園4歳児クラス、年長児は幼稚園年長児クラスと保育園5歳児クラスに通う子どもを指す。

2. 年少児～年長児までの学年による違いを把握することができる

今回の調査は、年少児～年長児の保護者を対象としており、子育てで生活の実態やしつけや教育に対する意識が、学年ごとにどのような違いがあるのかをとらえることができる。

3. 地域による子育ての違いを把握することができる

今回の調査では、首都圏と比較するために地方都市、郡部の保護者にもアンケートの協力をお願いした。これにより、地域による子育ての違いを把握することができる。なお、本報告書では、第1章～第5章、第7章の分析は、特別な説明がない限り首都圏のデータを用い、地域間の比較は主に第6章で行った。

4. 子育て環境の変化にあわせて、新規項目を追加している

子育て環境の変化を考慮して、子育ての実態をより具体的にとらえるために、子どもとのかかわりや保護者の教育選択などの新規項目を追加した。

調査概要

1. 調査テーマ

幼稚園児・保育園児の子どもをもつ家庭での子育ての実態、および、しつけや教育に関する保護者の意識をとらえる。

2. 調査方法

幼稚園・保育園通しによる家庭での自記式質問紙調査

3. 調査時期

第1回調査 1997年9月～10月

第2回調査 2003年9月～10月

4. 調査対象

第1回調査(1997年調査)

首都圏(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県)の幼児(1991年4月2日～1994年4月1日生まれ)と小学校1、2年生をもつ保護者4,766人(配布数21,000通、回収率22.7%)。

※このうち、第2回調査との比較にあたっては、幼稚園児・保育園児をもつ母親(2,478人)のデータを用いた。

※第1回調査は、任意郵送法により実施した。

第2回調査(2003年調査)

首都圏(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県)、地方都市(四国地方の県庁所在地)、郡部(東北地方)の幼稚園児・保育園児の子どもをもつ保護者4,471人(配布数6,121通、回収率73.0%)。

※このうち、分析は首都圏の母親(3,477人)を中心に行った。

※地方都市・母親(463人)、郡部・母親(332人)のデータは、地域間比較を行う際に用いた。

※調査項目は、経年比較が可能なように配慮したが、時代の変化にあわせて、追加・削除などの変更を行っている。

5. 調査項目

子育ての悩み・気がかり／しつけや教育の情報源／子どもとのかかわり／日ごろの様子や生活習慣／幼稚園・保育園選択／家庭の教育方針・心がけていること／子どもの将来／習い事の実態／小学校に望むこと／自分の生活の満足度／子育ての楽しさ・満足度／子育てやしつけの価値観

分析枠組みとサンプル数

今回の調査では、調査対象となった保護者のうち、首都圏・母親（2003年調査3,477人）を分析の中心とした。

分析枠組みとサンプル数は、以下の通りである。

1997年調査		年少児	年中児	年長児	不明	経年比較
	首都圏・母親	641	955	879	3	
2003年調査		年少児	年中児	年長児	不明	地域間比較
	首都圏・母親	752	1332	1370	23	
	地方都市・母親	152	158	151	2	
	郡部・母親	81	117	130	4	

※調査対象となった保護者の内訳は次の通りである。

1997年調査

首都圏：母親2,478人、その他（父親や祖父母など）61人、不明13人

2003年調査

首都圏：母親3,477人、その他（父親や祖父母など）102人、不明58人

地方都市：母親463人、その他（父親や祖父母など）6人、不明6人

郡部：母親332人、その他（父親や祖父母など）18人、不明9人

本報告書では母親のみを分析対象とした。

※本報告書では、学年の呼称を、「年少児、年中児、年長児」と省略した。その内訳は、以下の通りである。

年少児：幼稚園年少児クラスと保育園3歳児クラスに通う子ども

年中児：幼稚園年中児クラスと保育園4歳児クラスに通う子ども

年長児：幼稚園年長児クラスと保育園5歳児クラスに通う子ども